

## 巻頭言

### — 謹賀新年 —

理事長 市澤静山

明けましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。この一年が、書象会の皆様にとって、健康に恵まれ、前進、発展の年でありますようお祈りいたします。

書象誌の今号は七七〇号となります。昭和三十年十二月の創刊号の時、小学一年生で始められた方は、今七十歳になります。七十を越える会員の方々、壮年の方も若い方も、小学生の皆さんも、全員が同じように書象誌を手に持ち、月々新しくなる課題手本に向かって、一心に勉強して出品して来ました。まさに、書象誌を軸としたワン・チームの活動でした。今年もワン・チームで前進しましょう。

書象会は今年も、新年会、書象展、講習会、添削会等、例年通り開催を予定しています。大勢が参加されて盛り上げてほしいと願っています。皆様方の出席が書象会の力となります。

今年の新企画は書象展開催に合わせて、張廉卿書派の日中合同展を行うことです。二〇一七年には中国唐山市を訪問して張廉卿書派の両国の合同展を行いました。更に昨年五月には中国鄂州市の張裕釗書法文化博物館で上條信山先生作品と書象会の作品の招待展覧が開催されました。これを受けて、中国の張廉卿書派の方々にも出品をしていただき合同展を行うこととなります。

改組 新第六回 日展「沖邃」

特別会員 市澤静山



信山先生が築かれた張・宮島両先生の師弟愛を称えることから始まりました日中の交流が、初めて日本において花開くこととなります。

今年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。世界の眼は競技のみならず日本文化にも注がれることでしょう。書象展に入場される外国の方に感動を与えられれば素晴らしいことです。

昨年は度重なる強い台風が上陸し、甚大な災害をもたらしました。被災された皆様にお見舞い申し上げます。復興のための作業はお辛いことでしょう。一日も早く復旧されることを願い、お身体を大切になさいますようお願い申し上げます。